

公益社団法人鳥取県医師会長
一般社団法人鳥取県東部医師会長
公益社団法人鳥取県中部医師会長
公益社団法人鳥取県西部医師会長 } 様

鳥取県新型コロナウイルス感染症対策本部事務局長
(公印省略)

オミクロン株による感染急拡大を踏まえた発熱者等への診療について（依頼）

新型コロナウイルス感染症対策の推進については、発熱者等への診療や検査診断、宿泊及び在宅療養者へのオンライン診療（電話診療）、ワクチン接種の推進など、格別の御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本県においてもオミクロン株による新型コロナウイルス感染症の急拡大が続いており、新規陽性者数が過去最多を更新し続け、感染爆発手前の危機的な状況となっています。

医療提供体制については、「鳥取方式+α」の体制により、重症化リスクのある者は早期入院につながっているところですが、医療のひっ迫を防ぐため、軽症者等は宿泊療養施設又は在宅で療養していただいております。小児などの家族内感染等の事例において、在宅療養者の割合が増加しております。

この状況において、保健所業務はすでにひっ迫しており、また、軽症者等の療養先選定のために病状評価を担うメディカルチェックセンターでも受診までに期間を要する事例が発生しております。

このため、在宅療養者に安心して療養していただけるよう、更なるサポート体制の強化が必要と考えております。

については、在宅療養者への医療的ケアの早期対応につなげるため、診療・検査医療機関における発熱者等への診療につきまして、引き続き御理解、御協力いただきますとともに、当面の間、下記のとおり対応して下さるよう、貴会員の皆様に御周知いただきますようお願いいたします。

(担当：新型コロナウイルス感染症対策推進課 山崎 電話 0857-26-7770)

記

- 1 発熱等風邪症状を有する者を診察した際には、検査結果判明を待たず、また、検査結果の如何を問わず、できる限り、解熱鎮痛剤、鎮咳剤等の薬剤処方をお願いします。

【参考】メディカルチェックセンター受診患者の主な症状及び処方例

主な症状	発熱・悪寒、咽頭痛・違和感、咳嗽、頭痛、食欲不振、鼻汁・鼻閉感、全身倦怠感、関節痛・筋肉痛、喀痰、嘔気・嘔吐、下痢、呼吸困難感、腹痛
処方薬 (品名例)	カロナール錠・細粒、カルボシステイン錠・DS、トラネキサム酸錠・トランサミン散、アストミン錠、アンブロキシソールDS、ミヤBM錠・細粒、ツムラ葛根湯エキス顆粒、メトクロプラミド錠、ドンペリドン錠

- 2 かかりつけ患者のうち、慢性疾患で定期通院による内服治療を行っている者については、定期処方薬の残薬を確認し、追加処方をお願いします。また、かかりつけ患者以外の方であっても、お薬手帳や患者への聞き取り等を通じ、可能な限り、慢性疾患の有無及び定期処方薬の必要性の確認をお願いします。

※宿泊・在宅療養中に基礎疾患の内服薬が不足する場合は散見されているため。

- 3 更なる医療のひっ迫に備え、診療・検査医療機関において経口抗ウイルス薬を処方できるよう、ラゲブリオ登録センター (<https://www.msconnect.jp/products/lagevrio/>) への登録を御検討くださるようお願いいたします。(院外処方する医療機関もラゲブリオ登録センターへの登録が必要)

令和4年1月25日現在、県内71か所の薬局が院外処方に対応可能となっております。